

ラザフォードの銘醸畑で造られる、オバマ大統領就任セレモニーで二期にわたって使われたカリフォルニアを代表するワイナリー

ガレン・スタッグリン氏が1985年にナバのラザフォードベンチに設立したワイナリー。この土地はかつてボーリュウヴィンヤードのプライベートリザーブを産出した傑出した畑でもあります。ワイン造りには世界的に有名なミッシェル・ロランを招聘し、栽培責任者は息子ブランドンの妻の兄デヴィッド・エイブリューを採用するなど錚々たるメンバーを擁するナバのトップワイナリーです。2012年3月に娘のシャノンが社長に就任。ガレンの妻シャーリーがCEOを務め夫と二人で広告塔として世界を飛び回ります。



| 商品写真 | 商品名 | AVA | タイプ | 年 | 容量(ml) | 希望小売価格 | 摘要 |
|------|---|-----------------|-----|------|--------|---------|--------------------------------|
| | Chardonnay Rutherford Napa Valley シャルドネ | Rutherford-Napa | 白 | 2021 | 750 | ¥22,000 | 在庫僅少 ハーフ限定数入荷 ハーフ20VTG僅少 |
| | | | | 2020 | 375 | ¥12,000 | |
| | | | | 2021 | 375 | ¥17,000 | |
| | | | | 2021 | 1500 | ¥80,000 | |
| | Chardonnay100% 仏産樽発酵・樽熟成100% 10ヵ月熟成(新樽51%) 淡い黄金色に白桃、スイカズラ、柑橘類の魅力的なブーケがあるミディアム・ボディのワイン。ミネラル感に砕石や濡れた石の香り。口中では白桃の蜂蜜漬、シトラス・オイルとホワイト・カラント、バナラに仄かなオークの香りが印象的。 | | | | | | |
| | Cabernet Sauvignon Rutherford Napa Valley カベルネソーヴィニオン | Rutherford-Napa | 赤 | 2018 | 750 | ¥42,000 | |
| | | | | 2019 | | ¥55,000 | |
| | 18) Cabernet Sauvignon 87%, Cabernet Franc 9%, Petit Verdot 4% 仏産樽19ヵ月熟成(新樽84%) スタッグリンのフラッグシップ・ワイン 厳選された完熟ブドウのみ使用。黒い果実が幾重り、ムースのように空気を含んだ優しい口当たりから、次第に濃く凝縮した果実の味わいが一杯に広がります。しっかりしたタンニンが精巧な骨格を形成し、ラザフォード・ダストと土由来のミネラルが内包する力強さを押さえた上品さ、洗練された長熟性を確信させるフィニッシュへと続く。19) CS91%, CF6%, PV3% 仏産樽21ヵ月熟成(新樽87%) | | | | | | |
| 商品写真 | 商品名 | AVA | タイプ | 年 | 容量(ml) | 希望小売価格 | 摘要 |
| | "Salus" Chardonnay Rutherford Napa Valley サルース シャルドネ | Rutherford-Napa | 白 | 2022 | 750 | ¥14,000 | |
| | | | | | | | |
| | Chardonnay100% 仏産樽発酵・樽熟成(500L&600Lのパンチオンにて10ヶ月熟成/新樽率21%) サルース・シャルドネは自社畑の中でアメリカン・クローンから造られトロピカル・フルーツ、ピーチなどの華やかなアロマが楽しめるが酸も心地よくバランスの取れた仕上がり。オバマ大統領2期目の就任式前夜キャンドルライトレセプションで使用されました(10VTG)。 | | | | | | |
| | "Salus" Cabernet Sauvignon Rutherford Napa Valley サルース カベルネソーヴィニオン | Rutherford-Napa | 赤 | 2018 | 750 | ¥17,000 | |
| | | | | | | | |
| | 18) Cabernet Sauvignon 91%, Cabernet Franc 6%, Petit Verdot 3% 仏産樽19ヵ月熟成(新樽84%) サルースはブレンド時点でセレクトされるエステートと全て同じ造り。プラムやブラックオリーブを連想させる芳醇な香りに、若々しいタンニン分が引き締まった印象をもたらしています。キャンドルライトレセプションで使用(08VTG) 19) CS99%, CF1% 仏産樽19ヵ月熟成(新樽70%) | | | | | | |



スタッグリン・ファミリー・ヴィンヤード

STAGLIN
FAMILY VINEYARD

右の写真、左からシャーリー& ガレン・スタッグリン 夫妻、長女シャノン社長、長男ブランドン/取締役、



ナバ・ヴァレー/ラザフォードの銘醸地にある歴史的な畑からファミリーの結束で磨き上げられる

スタッグリン・ファミリー・ヴィンヤードは1985年設立。オーナー、ガレン・スタッグリンの父はイタリアからの移民で元々ブルネッコの生産者でした。ガレンはITビジネスで成功した資本をもとに、1985年にナバ・ヴァレーのラザフォードとオークヴィルの西側、マヤカマス山の麓にある20%の斜面の畑(火山性土壌)を購入しました。購入当時は60年代に植えられた樹齢20年の古樹があり、かつてはボーリュウの最上級ワイン『プライベートリザーブ』を生み出した畑でもありました。オーパス・ワン、ロバート・モンダヴィ、ト・カロン、コッポラ、スケアクロウといったナバ・ヴァレー屈指の特級畑が集まり、現在はカベルネ、シャルドネ、そしてスタッグリンのルーツとも言えるサンジョベーゼ・グロッツを栽培しています。

(CCOF 認可)

栽培管理にナバ唯一の栽培家・デヴィッド・エイブリュー(ガレンの長男ブランドンの妻はエイブリューの妹で、縁戚関係にある)が完璧に管理し、ワインメーカーは2007年よりフレデリック・ヨハンソンが努めます。フレデリックの経歴は、現在のナバ・カベルネのスターワインメーカートーマス・リヴァース・ブラウンに4年間弟子入りした後、ソノマヨオーストラリアで修業を積み、ナバ・ヴァレーに戻った後もハウエル・マウンテンのアウトポストでトーマスに師事した後、スタッグリンに入り、2007年よりワインメーカーに昇進。コンサルタントには世界的に有名なミッシェル・ロランにブレンドと共に全体の指南を仰いでいます。エステート・ワインのラベルに描かれているのはギリシャ神話の勝利の女神「ニケ」をモチーフにした現代アーティストの作品で、ワイナリーの庭に飾られています。*CCOF: California Certified Organic Farmers の略称



エステート シャルドネ ラザフォード ナパ ヴァレー
2021 Estate Chardonnay Rutherford, Napa Valley

希望小売価格 (税別)
32,000 円

品種：100% Chardonnay
10ヶ月間仏産大樽 (600ℓのパンション) にて発酵・熟成(40%新樽)

2020年ヴィンテージコメント (2020年11月30日にカリフォルニアワイン協会発表のレポートより抜粋)：
春夏ともに概ね涼しくおだやかなもので、8月初旬、9月前半、9月後半にあった熱波がブドウの成熟を促進し、生育サイクルが早まったことで早めにブドウの収穫を始めたが、各生産者の収穫時期によっては山火事の影響もあり、2020年の収量は全般的に非常に少なくなった。しかし世界に誇る高品質のワインを生産するというナパ・ヴァレーのヴィジョンは揺るぎなく、ラベルにナパ・ヴァレーと冠するに足るワインのみが、瓶詰めされた。スタグリンでは前年より1週間早い8月18日から22日の間、早朝まだ涼しい内に収穫を行い山火事の影響を免れることが出来た選抜されたブドウだけがスタグリン・エステートとして瓶詰めされたが、サルス・シャルドネは極僅か日本への輸入は叶わなかった。

エステート・シャルドネの樹齢は30年になろうとし、毎年、素晴らしいワインを作り続けているが、樹齢の高いブドウ樹は時間の経過とともに収量が減少する。また植え替えの為に、一時的にシャルドネの収量が減少してしまうことをお許しいただきたい。

醸造：伝統的な醸造方法を取り、手で選果し全房で優しくプレス、自然酵母で100%樽発酵させた。大きい樽500-600ℓの使用比率を2013年ヴィンテージから年々増やしており、2018年ヴィンテージから100%大樽で発酵している。大樽は普通樽に比べて空気に触れる率が下がることで、熟成のスピードがゆっくりとなり、さらに長熟なワインになる。2021年はマロラクティック発酵を行なわなかった。最初の数ヶ月はパトナーージュを最小限に抑え、アロマを最適化するために600ℓの仏産樽で10ヶ月間澱とともに熟成。

グラスから放たれるライム、洋ナシ、レモンのアロマとミネラル感、フレッシュな味わいが幾重にも重なり、酸とのきれいなバランスがある、長い熟成のポテンシャルのあるワイン。



スタグリン エステート カベルネ・ソーヴィニヨン 希望小売価格 (税別)
2018 Staglin Estate Cabernet Sauvignon 42,000 円

品種：87% Cabernet Sauvignon, 9% Cabernet Franc, 4% Petit Verdot
20ヶ月間仏産樽熟成 (89%新樽)

2018年は何もかも極端だった2017年に比べて、真反対のおだやかなヴィンテージでした。乾燥した冬後に十分かつタイムリーな雨が早春にあり、開花期の理想的な気候は豊作となる結実を生み、房の数や粒の大きさではなく、房ごとにつく実の数が多く確認できました。夏の気温も穏やかだったので、ハングタイムが長くなり、果実はよく熟しても糖度が上がりすぎることなく、きれいな酸を保ちました。収穫は10月5日から31日にかけて行いました。

ハーブ、カシス、ヒマラヤスギ、ラベンダーのアロマ。ラズベリー・リキュールとチェリー・コンポートの味わいに、ミントのニュアンス。グリーンペッパー、挽きたてのコーヒーにトウガラシのようなスパイスが効いています。素晴らしい重量感、凝縮感、パウダーのようにきめの細かいタンニンと絹のような滑らかさが優美でバランスのとれた骨格を造り出しています。古き良きワインの魅力と現代的な精緻さを併せ持つ、印象的なワインです。



スタグリン エステート カベルネ・ソーヴィニヨン 希望小売価格 (税別)
2019 Staglin Estate Cabernet Sauvignon 55,000 円

品種：91% Cabernet Sauvignon, 6% Cabernet Franc, 3% Petit Verdot
21ヶ月間仏産樽熟成 (87%新樽)

2019年は冬から春の初めにかけて寒く、雨が多かったが4月は暖かく晴天に恵まれ、5月は歴史的な雨が降ったが、過去数年に比べればむしろ穏やかで均一な天候であったと言える。ブドウの粒は小さく、房も小ぶりになったが、適切な時期に熟し、小さな粒は味わいが凝縮された高品質なものとなった。収穫は昨年とほぼ同じ10月4日に始まり26日に終了。

ラベンダー、ココア、ヒマラヤスギ、バラのつぼみ茶の優雅なアロマ。たっぷりとした黒系果実、熟したイチジク、生き生きとしたボイセンベリーの味わいに、素晴らしい重量感、凝縮感、パウダーのようにきめの細かいタンニンと美しい酸、絹のような滑らかさが優美でバランスのとれた骨格を造り出している。



サルースはスタッグリンのセカンド・ブランドにあたり、サルースの収益をすべてアメリカのメンタル・ヘルス研究所に寄付しています。「サルース」は古代ローマの健康と繁栄の女神で、ラベルにはそのシンボルである蛇と杯を持つ女神のイラストが描かれています。

サルース エステート シャルドネ ラザフォード ナパ ヴァレー

2022 Salus Estate Chardonnay Rutherford Napa Valley

品種：100% Chardonnay

10ヶ月間仏産樽熟成（44%新樽）

希望小売価格 14,000 円（税別）

2022年はここ数年に比べて、よりバランスが取れて穏やかな年だった。冬の初めは嬉しいほどたくさん雨が降り、年を越すと一転して短い乾燥した冬となったが、絶好のタイミングで降った4月の雨のおかげでブドウ樹は順調に成長し、夏まで安定した気温を享受した。こうした恵まれた条件はシャルドネの収穫のほぼ全期間を通じて続き、収穫のタイミングまで長い生育期間を取ることができた。

500ℓ、600ℓの大き目の樽で発酵を行った。普通の225ℓサイズの樽に比べて空気に触れる率が下がることで、熟成のスピードがゆっくりとなる。熟成中のワインを攪拌する作業は薫り高さと新鮮さを保つ為に最小限を行った。ワインは澱とともに10ヶ月間熟成。

2022年のサルース・シャルドネは、複雑味と洗練、リッチさが見事に調和している。エネルギー的なスイカズラとレモンの皮のアロマが広がり、口に含むと、カリン、熟した桃、レモン・パーペラ（柑橘類が香るハーブ）、ほのかなブリオッシュの香ばしい風味が弾け、しっかりした口当たりと酸味が作り出す長いフィニッシュへ続く。このワインはカリフォルニアの太陽の光で輝く果実の豊かな味わいとしっかりとした酸が表現する落ち着きのあるエレガントさを兼ね備えている。



サルース エステート カベルネ ソーヴィニヨン

2018 Salus Estate Cabernet Sauvignon

品種：91% Cabernet Sauvignon, 6% Cabernet Franc, 3% Petit Verdot
19ヶ月間仏産樽熟成（84%新樽）

希望小売価格（税別）

17,000 円

2018年は何もかも極端だった2017年に比べて、真反対のおだやかなヴィンテージでした。乾燥した冬の後には十分かつタイムリーな雨が早春にあり、開花期の理想的な気候は豊作となる結実を生み、房の数や粒の大きさではなく、房ごとにつく実の数が多く確認できました。夏の気温も穏やかだったので、ハングタイムが長くなり、果実はよく熟しても糖度が上がりすぎることなく、きれいな酸を保ちました。収穫は10月5日から4週間かけて行いました。

フランボワーズ・リキュール、黒い果実、スパイスのアロマ、ラザフォード・ダストが感じられます。カシスとボイセンベリーの味わいは細部までバランスがとれ、継ぎ目のない滑らかさ、洗練されたタンニンが質感のあるワインの佇まいをつくりだしています。一言で言えば、伝統的醸造方法で現代を描いたワイン。リリースしたてでも美味ですが、瓶熟させることで、さらに花開くポテンシャルを示しています。



サルース エステート カベルネ ソーヴィニヨン

2019 Salus Estate Cabernet Sauvignon

品種：99% Cabernet Sauvignon, 1% Cabernet Franc
19ヶ月間仏産樽熟成（70%新樽）

希望小売価格（税別）

17,000 円

2019年は冬から春先にかけては適度な寒さと雨に見舞われ、4月は非常に暖かく晴天に恵まれ、5月は歴史的な大雨が降ったが、過去数年に比べると穏やかであった。生産量は多くはなかったが、よいタイミングに成熟し、質の高い果実を収穫することができた。収穫は前年より4日遅い10月9日から3週間かけて行った。

花のノートがローズマリーへと変化し、耕作土、下草、ポルチーニ茸、黒鉛、火薬、葉巻のアロマ。爆発するようなカシスと熟したブルーベリー、ラズベリーに砕いたカカオニブの味わいに、甘草のニュアンス。絹のように滑らかな舌触りが長く続き、フィニッシュに強い印象を残す。伝統的醸造方法で現代を描いたワイン。リリースしたてでも美味ですが、瓶熟させることで、さらに花開くポテンシャルを示している。

